九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[054] 語文研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/10219

出版情報：語文研究. 54, 1982-12-20. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

研究棟の改修工事のために国文研究室は久かたぶりにもとの正門前の建物に引越してきました。改修工事の終る三月までの仮り住いですが、窓ごしに博多湾が望めるまずまずの部屋です。

四月に今井先生が御退官になり、八月には奥村先生が一年間の御予定で、東南アジアに御出立ということで、研究室はどうやら、次の雄飛を期すべく雌伏のときにあるといった趣きがあります。しかし、暫時といえども「冬眠」は許さないと、紫藤氏、宮崎氏の卒業生二氏からの投稿をいただき、本53号を飾ることができました。ありがたいことです。これに気鋭の大学院生國生雅子、中原豊両君の論文、工藤重矩氏の金原理氏『平安朝漢詩文の研究』および後藤昭雄氏『平安朝漢文学論考』二著についての紹介をあわせて54号としました。卒業生先輩諸氏のあたたかい御指導をいただければ幸いです。この四月から、助手は、田坂憲二君から辛島正雄君にかわっています。

次号締切は昭和五十八年一月末日です。

（迫野記）

《規　定》

一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に投稿を依頼することもある。
二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
四、刊行は年二回（春・秋）を原則とする。
五、刊行会会費は現在年額維持会員三千円（各号二部配布）、通常会員千五百円（各号一部配布）とする。
六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。

執筆者紹介

紫藤誠也　神戸女子大学文学部講師
宮崎隆広　福岡女学院教諭
國生雅子　九州大学大学院（修士課程）
中原　豊　九州大学大学院（修士課程）
工藤重矩　福岡教育大学助教授